

文学部国際言語・文化学科（日本語・日本文学コース）

国際言語・文化学科・国語科教員採用試験に向けて

教授 高木 伸幸

国際言語・文化学科では、国語科教員を目指す学生を対象とする教員採用試験勉強会を今年も開催しました。今年で7年目になります。さまざまな国語試験問題を解き、中学・高校国語の教科専門試験に対応できる学力を身につけていくのが目的です。

平成27年度は、例年より早く前年度10月下旬よりスタート、春休みに6回、4月以降は教育実習期間を除いてほぼ毎週実施され、7月の公立学校教員採用試験までに合計20回行われました。

この勉強会に参加していた学生の中から、これまで現役生で計6名の私立高校採用者、既卒生で4名の公立中学校採用試験合格者を出して参りましたが、今年度はついに福岡市中学国語・大分県中学国語のダブル合格者を出すことができました。

次年度に向けた三年生による勉強会が既にスタートしております。今後も教員をめざす学生諸君の夢の実現に向けて活動を続けていきたい所存です。

文学部国際言語・文化学科（書道コース）

指導法における取組

別府大学名誉教授 荒金 信治

教職課程履修者を対象にした書道教室においては、もう君は教師なんだ!の方針の基、次の1授業における指導法、2指導案の書き方、3教材研究の仕方 を重点的に指導。

1は、指導要領を理解し、高校の教科書に記載されている古典の教材をどのように指導すべきかを考え、楷書学習の主となる波磔においては九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、孟法師碑の押す線と引く線の操作を分類、どのように生徒に伝えるべきかの考察に努め、

2は、学生が作成した指導案を基に議論を重ね、言葉は省略せず、指導を行う通り具体的にまず書き、見ただけで誰でも授業ができる指導案の制作に努め。支援においては「指導における支援の方法」に徹し、より望ましい授業展開と、生徒の理解度を高める方法の模索に努め、

3は、実技の授業と関連させ、教材設定上での教材研究を中心に努めました。

以上の3つは、全て生徒が理解できるための指導方法であり、大学生が理解する上において必要な事です。受講した学生からは古典の臨書、指導案作り、資料作りなどが理解でき、一つでも多く今から準備をしていきたいと感想。教壇に立ち授業を受けた生徒に驚きと感動が広がるように授業を行いたいと語ってくれました。

平成28（2016）年度 史学・文化財学科の取り組み

教授 松森 武嗣

「別府大学教員採用試験対策勉強会」は、顧問教員のアドバイスを受けながらも、主体性「連携」「継続性」の基本方針のもとで、中学・高校教員を目指している史学・文化財学科所属の有意な学生が参加し運営している勉強会です。

立ち上げ8年目である平成28年度の活動状況としては、夏休み、冬休みと春休み期間を除いた前・後期を通じて、日本史と世界史を交互で、週2回5限目に、教科書の單元ごとを授業形式で、メンバー輪番制のもと、日本史は明治時代まで、世界史は主に西洋史を中心にフランス革命までの基礎固めを目指しました。特に、毎回のよう復習小テストを取り入れることで、知識の定着を図りました。

ただ、相変わらず参加者が少なくなっていくのが気がかりとなっています。そのためか、年1回の歴史能力検定試験への受検者も減少しています。

国際経営学科の取り組み

准教授 高木 正史

平成28年度における国際経営学科4年生の教職課程履修者はおらず、教育実習に赴いた者もないが、本稿では教職課程履修者の中でも来年度に教育実習を控えた3年生（1名）、後藤航君（楊志館高等学校出身）に対する筆者（「商業科教育法Ⅰ・Ⅱ」担当）によるフォローアップ体制・実績のみを紹介したい。彼は高等学校第一種免許状「商業」「情報」の取得希望者であり、日々の筆者の講義の中で、「指導案作成」「模擬授業」「教育問題討論」を実施するほか、全国の教員採用試験の動向分析や具体的な試験対策方法の検討を行っている。

平成29年度は前出の後藤君が教育実習に赴く予定であり、国際経営学科独自の「教職オリエンテーション」を実施し、後藤君ならびに今後の免許取得希望者の教職課程履修や教育実習に対する意識向上を図っていきたい。

文学部教職課程

別府市立浜脇中学校学習支援ボランティア

教授 今井 航

教職課程では、別府市立浜脇中学校からの要請により、浜脇中学の生徒に対して定期テスト前の1日、第10期模擬授業の会の委員を中心に教職課程履修者をはじめとする大学生数名に呼び掛けて参加者を募り、放課後学習の支援を行った。平成28年度における実施日とそのボランティア数を挙げれば、以下の通りとなる。

平成28年6月20日（月）：4名

平成28年11月21日（水）：4名

平成29年2月20日（月）：3名

可能であれば、毎回8名前後の参加が望まれている。大学の講義・演習が開かれている際には、その確保は難しい。しかし、できるだけ確保できるよう、これまで通り、予定されている日程を早めに入手し、教職課程履修者を中心に参加を幅広く呼び掛けていきたい。